

令和 4（2022）年度市民意識調査の概要について

1 調査の経緯と目的

武蔵野市では、長期計画・調整計画の策定に先立ち、市民の皆様の市政に対する考えをうかがうことにより現在行っている事務や事業の満足度のほか、新たな行政課題や多様な市民ニーズを把握することを目的に、市民意識調査を実施してきました。

今回の調査結果は、今後の長期計画・調整計画策定を含めた、市政全般に関する基礎資料として活用します。

2 調査項目

今回の調査では、以下のテーマについて調査しました。

<調査テーマ>	<問番号>
(1) お住まいの地域のことについて [定住のきっかけ、生活環境の評価、定住意向、地域への関心度、近隣との交際状況、地域における行動の状況・意向、地域の活動の参加者を増やすために必要なこと、地域への誇り・愛着、困っていること・不安なこと、手伝ってもらう相手、相談相手]	(問1～問11)
(2) 市政に関する情報提供などについて [市の情報の入手状況、知りたい市政情報、広報媒体の認知状況]	(問12～問14)
(3) 市の施策に対する満足度・重要度について [市の施策に対する満足度・重要度、市政の現状や問題点、市の将来像]	(問15～問17)
(4) 市の新型コロナウイルス感染症に関する施策に対する満足度などについて [市の新型コロナウイルス感染症に関する施策に対する満足度、新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策、不安に感じたことや困ったことの内容、生活や行動の変化、今後も利用が促進されるべきオンライン活動、行政サービスのデジタル化に向けて今後市が優先すべき取組]	(問18～問23-1)
(5) 平和・多文化共生について [「平和」についての関心の有無、市の平和事業の認知・参加状況、中島飛行機武蔵製作所の認知度、「武蔵野市平和の日」の認知度、平和施策を進めるうえで市が取り組むべきこと、平和の尊さ、戦争の悲惨さを継承するために自身が取り組めること、武蔵野市在住の外国人との関わりの希望、外国人と関わる際の支障、外国人が地域社会の一員として生活するうえでしてほしいと思うこと、地域に外国人が増えることによる影響、多文化共生の社会づくりに向けて行政が力を入れるべきこと]	(問24～問34)
(6) 自由意見欄 [平和・多文化共生に関する市の政策についての自由意見 市政についての自由意見 新型コロナウイルス感染症に関する市の政策についての自由意見]	

3 調査設計

- (1) 調査地域 武蔵野市全域
- (2) 調査対象 武蔵野市に居住する満18歳以上の方
- (3) 標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配布一郵送・WEB回収併用
- (5) 調査時期 令和4年（2022）7月27日（水）から8月26日（金）まで

4 回収結果

	標本数	回収率	
今回(令和4(2022)年)	4,000標本	36.7% (1,468件)	郵送回収：922件 WEB回収：546件
令和2(2020)年	3,500標本	51.6% (1,805件)	郵送回収：1,244件 WEB回収：561件
平成30(2018)年	3,500標本	43.0% (1,504件)	郵送回収：1,180件 WEB回収：324件

5 調査速報

別添「令和4(2022)年度 武蔵野市民意識調査報告書(速報版)」のとおり。

担当課 市民部市民活動推進課